

2024 年度 奨学生入学試験

地理歴史・公民・理科 〔世界史 B, 日本史 B, 政治・経済〕 〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

(試験時間 60 分)

この問題冊子には、「世界史 B」「日本史 B」「政治・経済」の 3 科目及び「理科 (物理基礎・化学基礎・生物基礎)」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、129 ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史 B	4 ~ 29	左の 3 科目のうち 1 科目を選択して解答する。
	日本史 B	30 ~ 55	
	政治・経済	56 ~ 81	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	83 ~ 129	試験時間内に左の 3 科目のうち 2 科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙 1 枚で 2 科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間 (60 分) の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

日本史 B

(解答番号 ~)

第1問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 大王を中心とするヤマト政権が広域にわたる権力を確立したとみられる5世紀には、前方後円墳の規模が巨大化していった。また、古墳が築造された地域も、それまでの大和地域から、[Ⓐ]百舌鳥古墳群や古市古墳群などにみられるように、和泉・河内などの海岸に近い地域に移動した。[Ⓑ]5世紀は、ヤマト政権が中国王朝に対して積極的な外交政策を展開していた時期であったことから、これは外国使節の目を意識したためではないかと考えられている。

なお、巨大古墳はこのような近畿中央部だけではなく、日本各地にみられる。群馬県の太田天神山古墳や岡山県の などは、全長が200メートルから300メートルある巨大古墳である。こうした古墳の存在は、その地域の豪族が、ヤマト政権の支配下にありながらも地域的君主として大きな権力を保持していたことを物語っている。ヤマト政権は、こういった地域的君主を、その支配体制である[Ⓒ]氏姓制度に組み入れることで、勢力範囲を拡大していった。一方、[Ⓓ]6世紀には、 と結んだ筑紫国造磐井のように、ヤマト政権の支配に抵抗する豪族も出現した。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 箸墓古墳 イ 新羅
- ② ア 箸墓古墳 イ 高句麗
- ③ ア 造山古墳 イ 新羅
- ④ ア 造山古墳 イ 高句麗

問2 下線部②に関連して、百舌鳥古墳群にある大仙陵古墳に関して述べた次の文 X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 埋葬施設は、いつでも追葬可能な横穴式石室であった。

Y 副葬品として、「^{わかたける}獲加多支鹵大王」に関する銘文が刻まれた鉄剣が出土した。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問3 下線部③に関連して、5世紀の外交に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 邪馬台国の女王が、魏の皇帝に使者を送り、「親魏倭王」の称号を賜った。
- ② 倭の国王である帥升が、奴隸と考えられる生口を前漢の安帝に献じた。
- ③ 奴国の王の使者が、後漢の都に赴いて、光武帝から印綬を賜った。
- ④ 倭の五王が、朝鮮半島への影響力の強化を目的に、中国南朝に朝貢した。

B 7世紀に入ると、ヤマト政権は国内支配に重点を置き、律令体制の整備を進めた。㉔白村江の戦いで大敗を喫した後、天智天皇は、統一的に民衆を把握するため、初の全国的な戸籍となる庚午年籍を作成した。そして、㉕689年、飛鳥浄御原令が施行され、持統天皇がそれに基づいて庚寅年籍を作成した。

701年には、刑部親王と藤原不比等らによって、大宝律令が編纂^{へんさん}され、律令国家としての体制がほぼ整った。政府は、6年に1度作成される戸籍に基づいて口分田を支給する班田収授法を実施し、租税を課した。律令税制では、基本的に㉖成年男性を中心とした個別人身賦課方式がとられたが、こうして課された各種の人頭税などは民衆の重い負担となり、やがて㉗さまざまな手段を駆使して負担から逃れようとする動きがみられるようになった。

問6 下線部㉔に関連して、白村江の戦いの後に整備された日本の防衛政策に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 対馬・壱岐・筑紫に、防人と烽を設置した。
- ② 唐・新羅に対する最前線基地として、磐舟柵を設置した。
- ③ 大宰府の北方に、防衛施設として水城を設置した。
- ④ 西日本一帯に、朝鮮式山城を設置した。

日本史 B

問 7 下線部㉑に関連して、これらの政策が行われた時代の文化を白鳳文化という。白鳳文化に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 屋内の調度品には、日本独自に発展をとげた螺鈿らでんや蒔絵の手法が多く用いられた。
- ② 書道では和様が発展し、小野道風・藤原佐理・藤原行成の三跡と呼ばれる名手が現れた。
- ③ 仏教は朝廷の保護を受けながら発展し、大官大寺・薬師寺などが官寺として建立された。
- ④ 柿本人麻呂・額田王らの歌人が現れ、それらの作品は『懷風藻』に収められた。

問 8 下線部㉒に関連して、律令制度下において成人男性を中心に課された負担に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 年間10日の都での労役（歳役）のかわりに、麻布などを納める庸を負担した。

Y 国司のもとで、年間60日を限度に水利工事や国府の雑用に従事する雑徭を負担した。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問 9 下線部④に関連して、次の史料は8世紀前半の民衆の様子を記したものである。8世紀の民衆の状況とこの史料に関して述べた下の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

史料

(養老元年五月) 丙辰、詔して曰く、「率土(注1)の百姓、四方に浮浪して課役を規避し、遂に王臣(注2)に仕へて、或は資人(注3)を望み、或は得度(注4)を求む。王臣本属を経ず(注5)私に自ら駈使し、国郡に嘱請して遂に其の志を成す。茲に因りて、天下に流宕(注6)して郷里に帰らず。若し斯の輩有りて、輒ち私に容止(注7)せば、状を揆りて罪を科すること、並に律令の如くせよ」と。

(『続日本紀』)

(注1) 率土：全国。

(注2) 王臣：上級貴族。

(注3) 資人：上級貴族に仕える者。課役が免除された。

(注4) 得度：出家をすること。

(注5) 本属を経ず：所属先への手続きをせずに。

(注6) 流宕：流浪して過ごすこと。

(注7) 容止：かくまうこと。

- a 8世紀初頭には、平城京造営のための徴発が民衆を疲弊させていた。
- b 8世紀後半には、大伴家持によって貧窮問答歌が詠まれた。
- c 史料からは、民衆が性別を偽ることで課税を逃れていたことが読み取れる。
- d 史料からは、貴族が民衆の浮浪や逃亡を助長させていたことが読み取れる。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

第2問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 鎌倉幕府において、御家人との強固な主従関係を構築した源頼朝が亡くなった後、2代将軍である源頼家の時期には、有力御家人13人による合議制が整備された。そして、 という優位性を盾に、㉑北条氏が御家人間で起きた争いに勝利を重ね、台頭していった。

北条義時と泰時の時期になると、北条氏は、執権として鎌倉幕府を主導する立場を揺るぎないものとした。この時期、幕府は㉒承久の乱に勝利して、西国における勢力を拡大し、さらに、㉓御成敗式目(貞永式目)を制定することで、武家社会における合議制と法治主義を明確化し、執権政治の基盤を築いた。

その後、㉔北条時頼の時期には、北条一門の名越氏を没落させ、大きな勢力を保持していた三浦泰村を により滅ぼすなど、北条氏は権力をさらに強化していった。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | | |
|---|---|--------|---|------|
| ① | ア | 将軍家の外戚 | イ | 霜月騒動 |
| ② | ア | 将軍家の外戚 | イ | 宝治合戦 |
| ③ | ア | 貴族の出身 | イ | 霜月騒動 |
| ④ | ア | 貴族の出身 | イ | 宝治合戦 |

問2 下線部㉔に関連して、北条氏が台頭するまでの出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

- Ⅰ 侍所別当であった和田義盛が、北条氏と対立して滅ぼされた。
- Ⅱ 北条氏追討を計画した比企能員が、逆に北条氏により殺害された。
- Ⅲ 修禅寺に幽閉されていた源頼家が、謀殺された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史 B

問 3 下線部⑥に関連して、次の史料は承久の乱当時の鎌倉幕府内の様子を描いたものである。この史料に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

史料

(承久三年五月)十九日壬寅、(中略)二品(注1)、家人等を簾下(注2)に招き、秋田城介景盛を以て示し含めて曰く、皆心を一にして奉るべし。是れ最期の詞なり。故右大将軍朝敵を征罰し、関東を草創(注3)してより以降、官位と云ひ、俸禄と云ひ、其の恩既に山岳よりも高く、溟渤(注4)よりも深し。報謝の志浅からんや。而るに今逆臣の讒(注5)に依て、非義の綸旨を下さる。名を惜しむの族は、早く秀康・胤義(注6)等を討ち取り、三代將軍の遺跡を全う(注7)すべし。

(『吾妻鏡』)

(注1) 二品：北条政子。

(注2) 簾下：簾の前。高貴な女性は簾を隔てて対面した。

(注3) 関東を草創：鎌倉幕府を開いたこと。

(注4) 溟渤：果てしなく広い海。

(注5) 讒：相手を陥れるための偽りの言葉。

(注6) 秀康・胤義：藤原秀康・三浦胤義。いずれも院側についた武士。

(注7) 遺跡を全う：残された所領などをそのまま保つこと。

X 源頼朝の妻であった人物が、御家人たちに対し、源頼朝から受けた恩を思い出させ、幕府方の結束を呼びかけた。

Y 後鳥羽上皇によって出された北条泰時追討令は、戦に勝ちさえすれば無効になるから安心するようにと説得している。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 4 下線部㉔に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 御成敗式目は、源頼朝以来の先例や武家社会の慣習に基づいて制定された。
- ② 御成敗式目には、守護の任務である使節遵行権が明文化された。
- ③ 御成敗式目制定後に発布された法令は、建武以来追加と総称された。
- ④ 御成敗式目の制定後、すぐに公家法や本所法は失効した。

問 5 下線部㉕に関連して、北条時頼に『立正安国論』を提出した日蓮に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 病人の救済施設として大和に北山十八間戸を建てると、社会事業に力を尽くした。
- ② 法華経を釈迦の正しい教えであると主張し、題目である「南無妙法蓮華経」を唱えることで人々は救済されると説いた。
- ③ 『興禅護国論』を著して、護国のための禅の必要性を説くとともに、坐禅によって人々が悟りを開くことを目指した。
- ④ 鎌倉幕府が創建した円覚寺の開山となり、特に武士を対象に、念仏を唱える重要性を説いた。

日本史 B

B 南北朝の合一を達成した足利義満は、^㉔倭寇の活動が活発化し明がその取り締まりを要求するなか、明と国交を開くため1401年に遣明船を派遣した。このときの正使は僧の祖阿、副使は博多商人の肥富で、翌年、明の皇帝から「源道義」宛の返書と大統暦が与えられた。これ以後、将軍から明の皇帝に送る公式文書には「臣源」の署名がなされた。こうして明から交付される勘合を用いた日明貿易が始まった。

その後、室町幕府の安定期を創出したとされる4代将軍のは、朝貢形式の貿易であることを不服として、明との国交を断つ政策をとった。しかし、いわゆる「万人恐怖」の政治を遂行したことで知られる6代将軍の^㉕足利義教の時代になると、貿易の利益が優先され、明との貿易は再開された。その後、15世紀後半に起こった応仁の乱によって室町幕府の支配力が弱まると、^㉖貿易の実権は、商人と結んだ有力守護へと移っていった。

問6 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 日本国王 エ 足利義政
- ② ウ 日本国王 エ 足利義持
- ③ ウ 日本国大君 エ 足利義政
- ④ ウ 日本国大君 エ 足利義持

問7 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

X 南北朝動乱の頃、倭寇は壱岐・対馬などを拠点として、朝鮮半島や中国大陸の沿岸部を襲撃した。

Y 倭寇は、織田信長が16世紀後半に発布した海賊取締令によって姿を消した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問8 下線部㉕に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17

a 足利義教の将軍就任が決定したその年に、近江坂本の蜂起を契機とした徳政一揆が勃発した。

b 足利義教の将軍就任が決定したその年に、南山城で守護排斥を要求した国一揆が勃発した。

c 足利義教は、周防国を拠点とした守護である山名氏清により殺害された。

d 足利義教は、播磨国を拠点とした守護である赤松満祐により殺害された。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

日本史 B

問 9 下線部㉔に関連して、日明貿易に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

18

X この守護は、堺の商人と結んで日明貿易の実権を握ろうとした。

Y 16世紀前半に、この地で日明貿易の実権をめぐる争乱が発生した。

a 大内氏 b 細川氏 c 大宰府 d 寧波

① X — a Y — c ② X — a Y — d

③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。

第3問 次の文章A・Bは、夏休み明けの歴史研究部の活動における、先生と生徒との会話である。この文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A

先生：江戸時代について自由に調べる課題を出していましたが、何について調べましたか。

生徒：はい、以前から興味があったことについてまとめてみました。一つは、「世界文化遺産」に1999年に登録された[Ⓐ]「日光の社寺」についてです。「日光の社寺」の中心は、[Ⓑ]徳川家康を東照大権現として祀^{まつ}っている東照宮で、修学旅行で実際にみたことがあり、興味がありました。

先生：いいですね。日光東照宮は[Ⓒ]権現造の建築物の代表的な例で、極彩色の彫刻が際立っている陽明門は、特に美しいですね。

生徒：陽明門についても調べたのですが、龍や鳳凰などの伝説上の動物のほかに、聖人・賢人などの500以上もの精緻な彫刻が装飾されているんです。「日本で最も美しい門」とも言われ、「日が暮れるまでみても飽きない」という意味から「日暮の門」という呼び方もあることがわかりました。

先生：そうですね。その豪華絢爛な美しさは、ほかにはあまりみられないものですね。日光東照宮は、[Ⓓ]3代将軍であった徳川家光の時代に整備されたものですが、幕藩体制の充実を反映した建造物であると言えますね。

問1 下線部[Ⓓ]に関連して、天保の改革が推進されているなかで日光社参を行った将軍として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① 徳川家慶
- ③ 徳川家綱

- ② 徳川家定
- ④ 徳川綱吉

問 2 下線部㉔に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

- Ⅰ 文禄の役や慶長の役では渡海せずに、自らの兵を温存した。
- Ⅱ 「天下分け目の戦」と称された戦いで、石田三成らに勝利した。
- Ⅲ 三河の長篠での合戦に、連合軍として勝利した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3 下線部㉕に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 本殿と拝殿を石の間で結び、屋根が「エ」字形に連なった霊廟建築様式。
- ② 茶室と庭園をたくみに調和させ、簡素な美を追求した茶室風建築様式。
- ③ 床・違い棚・付書院などをしつらえた、寝殿造から発展した建築様式。
- ④ 禅宗様とも呼ばれ、細かな木材を多く用いた装飾性の高い建築様式。

問 4 下線部㉖に関連して、この時期に江戸幕府によって推進された政策に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 元和年間に発布した武家諸法度により、参勤交代が制度化された。
- ② ポルトガル船の来航の禁止を命じ、オランダ商館を出島に移設した。
- ③ 琉球王国との間で、通信使についての規定を含む己酉約条を締結した。
- ④ 朝廷の政治介入を制限するため、禁中並公家諸法度が制定された。

日本史 B

B

生徒：それから、㉔享保の改革についても調べました。享保の改革は、8代将軍であった徳川吉宗が、18世紀に入って行ったものですが、「改革」という言葉から、この時期には、江戸幕府は幕藩体制の維持が困難になっていたのではないかと、という仮説を立てました。

先生：吉宗が改革に着手した1716年は、初代将軍の徳川家康が死去してからちょうど100年がたった年です。100年も経過すれば、社会の変化に幕藩体制が対応しきれなくなっているとしても不思議ではないですよ。

生徒：はい。調べたところ、急速に浸透した㉕貨幣経済が農村にも広がり、幕府が理想としていた農民の自給自足を軸とした本百姓体制が揺らぎ始め、年貢を収入源とする武士の生活も苦しくなっていたようです。

先生：そうですね。㉖吉宗が登用した儒者に荻生徂徠という人物がいますが、彼が幕府に提出した㉗『政談』を読んでみると、当時の武士の生活が窮乏状態にあったことがよくわかりますよ。

生徒：ありがとうございます。さっそく図書室で、『政談』の史料を確認してみます。あとは、㉘享保の改革が終わった後の社会がどのように推移していったのかも調べてまとめてみようと思います。

問5 下線部㉔に関連して、享保の改革で推進された政策に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 検見法を改めて定免法を取り入れ、年貢率の引き上げをはかった。
- ② 石高1万石につき100石を大名から上納させる、上げ米を実施した。
- ③ 江戸石川島に人足寄場を設置し、無宿人を集めて職業訓練を施した。
- ④ 判例に基づいた司法判断を進めることを企図し、公事方御定書を制定した。

問6 下線部①に関連して、江戸時代の貨幣に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

24

X 小判などの金貨が、計数貨幣として使用された。

Y 丁銀・豆板銀などの銀貨が、秤量貨幣として使用された。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問7 下線部⑧に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

25

X 吉宗が江戸町奉行に任命したこの人物は、広小路・火除地といった防火施設を設けるなど、都市政策を進めた。

Y 吉宗が登用した田中丘隅は、租税や治水などについての意見書としてこの書物を幕府に献上した。

a 大岡忠相

b 青木昆陽

c 『民間省要』

d 『農業全書』

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問 8 下線部⑥に関連して、次の史料から読み取れる内容に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

26

史料

当時(注1)は旅宿の境界(注2)なる故、金無てはならぬ故、米を売て金にして、商人より物を買て日々を送ることなれば、商人主と成て、武家は客也。故に諸色(注3)の直段(注4)、武家の心儘にならぬこと也。武家皆知行処に住する時(注5)は、米を売らずに事すむ故、商人米を欲しがることなれば、武家主と成て、商人客也、されば諸色の直段は武家の心儘に成る事也。是皆古聖人の廣大甚深なる智恵より出たる万古不易の掟也。

〔『政談』〕

- (注1) 当時：今の時節のことで、ここでは享保期を指す。
- (注2) 旅宿の境界：旅先の宿で暮らすような不安定な状態。
- (注3) 諸色：さまざまな物品。
- (注4) 直段：値段。
- (注5) 武家皆知行処に住する時：武士が自らの領地に住んでいるとき。

X 荻生徂徠は、年貢収入に依存した武士の生活を嘆いており、商人を見習い、経済活動を行うことを勧めている。

Y 荻生徂徠は、武士の没落は、自分の領地から都市部へと移住することにより起きるとして、武士の土着を勧めている。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問9 下線部①に関連して、田沼時代に推進された政策やこの時期の社会に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

27

- a 株仲間の解散を命じる一方、新興商人に運上・冥加の上納を指示した。
- b 南鐮二朱銀を鑄造して、金を中心とした貨幣制度への一本化を目指した。
- c 浅間山噴火や冷害によって、東北地方を中心に飢饉が起こった。
- d 天候不順による飢饉が起こり、江戸で初めて打ちこわしが発生した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

第 4 問 次の文章 A・B を読み、下の問い(問 1～9)に答えよ。

A 明治政府は、①殖産興業政策を進めるとともに、中央集権の強化をはかり、封建的な諸制度を相次いで撤廃した。アによって知藩事となった藩主の藩士との主従関係が消滅したことに乗じ、政府は四民平等の方針を打ち出した。その後、この四民平等を建前として、帯刀を禁止する廃刀令を發布し、さらに、②国家財政が危機に直面するなかで、秩禄処分を断行して士族に支給されていた家禄・賞典禄を全廃するなど、旧武士階級の身分的特権を剥奪していった。

一部の士族らは、秩禄処分による金禄公債を元手に不慣れな商売を始めたが、「士族の商法」と言われたように、大多数は失敗して没落していった。政府は、北方警備の目的もあって北海道に イ を設置し、北海道移住を奨励するなど困窮する士族の救済をはかったが、効果は上がらず、士族の不満を抑えることができなかった。政府への反発を強めた士族のなかには、③武力蜂起に加わる者や自由民権運動に身を投じる者が現れた。

問 1 空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① ア 廃藩置県 イ 鎮 台
- ② ア 廃藩置県 イ 屯田兵
- ③ ア 版籍奉還 イ 鎮 台
- ④ ア 版籍奉還 イ 屯田兵

問2 下線部㉔に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 大阪紡績会社などの官営模範工場が設けられ、海外の技術が導入された。
- ② 岩崎弥太郎の三井が政府から手厚い保護を受け、海運業を発展させた。
- ③ 日本鉄道会社が工部省の援助を受け、新橋・横浜間に鉄道を敷設した。
- ④ 前島密の建議により、飛脚にかわる官営の郵便制度が発足した。

問3 下線部㉕に関連して、地租改正と地租改正事業が完了する頃に大蔵卿に就任した松方正義が実施した財政政策に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

- a 地租改正により、課税の基準は収穫高から一定した地価に変更された。
- b 地租改正により、納税方法が金納から物納へと改められた。
- c 松方財政では、増税と軍事費以外の支出を抑える緊縮財政が推進された。
- d 松方財政では、積極財政が推進されたことから金本位制が確立した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問4 下線部㉖に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

- I 板垣退助らが愛国公党を結成し、民撰議院設立の建白書を左院に提出した。
- II 西郷隆盛を首領として、鹿児島の子学校生を中心とした士族が蜂起した。
- III 士族を中心に、全国の有志が大阪に集まり、愛国社を結成した。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
 ④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

日本史 B

B 1914年、 を与党とする第2次大隈重信内閣が成立すると、外相には
④加藤高明が就任した。加藤高明は、「日支間の諸懸案」として、関東州の租借地
や南満州鉄道の権益の期限の延長を目指すことを重要課題としていたが、そのよ
うななかで、ヨーロッパにおいて⑤第一次世界大戦が勃発した。

参戦の判断を迫られた日本は、日英同盟を理由として協商国(連合国)側に立っ
て参戦することを決め、列強がヨーロッパ方面の戦鬪に気を取られている間に、
⑥中国におけるドイツの租借地や赤道以北のドイツ領南洋諸島の一部を占領し
た。さらに、1915年には、袁世凱政府に対して二十一カ条の要求を行い、日本
の権益の拡大をはかった。また、袁世凱が急死した後、親日的であった
政権が成立すると、⑧寺内正毅内閣はこの政権に西原借款と呼ばれる巨額な経済
借款を与え、中国における日本の影響力拡大につとめた。

問5 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④
のうちから一つ選べ。

- ① ウ 立憲国民党 エ 段祺瑞
- ② ウ 立憲国民党 エ 汪兆銘
- ③ ウ 立憲同志会 エ 段祺瑞
- ④ ウ 立憲同志会 エ 汪兆銘

問 6 下線部㉔に関連して、加藤高明が参画した第二次護憲運動に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 33

X この運動は、2 個師団増設問題で第 2 次西園寺公望内閣が総辞職した後、貴族院を母体とした清浦奎吾内閣が成立したことを受けて、起こされた。

Y この運動が高揚した背景には、主権は民衆にあると主張する民本主義に支えられた大正デモクラシーの風潮の広がりがあった。

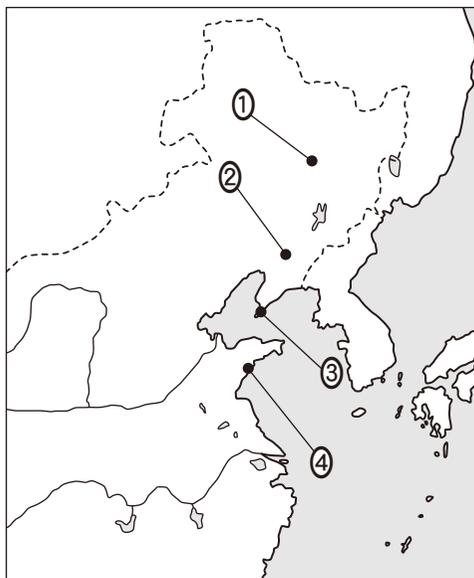
- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

問 7 下線部㉔に関連して、大戦景気に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① アメリカ向けの生糸輸出や、アジア市場への綿織物輸出が増大した。
- ② 器械製糸の生産量が、座繰製糸の生産量を初めて上回った。
- ③ 日本はイギリス・アメリカを抜いて世界第 1 位の海運国となった。
- ④ フランスからの輸入が途絶えたため、化学工業が勃興した。

日本史 B

問 8 下線部㉑に関連して、この租借地の位置として正しいものを、次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。 35



問 9 下線部㉒に関連して、寺内正毅内閣が総辞職に追い込まれる要因となった出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① 海軍の軍縮をめぐる、統帥権干犯問題が起こった。
- ② 米価の引下げなどを求める騒擾そうじょうが、全国に広がった。
- ③ 裕仁親王が無政府主義者に狙撃される、虎の門事件が起こった。
- ④ 軍艦などの購入をめぐる海軍高官の汚職事件が、国民の批判を浴びた。

(下書き用紙)